

### 3 KDDビル

KDD BUILDING

所在地／東京都新宿区西新宿 2—3—2

建築主／国際電信電話株式会社

設計者／(株)日本総合建築事務所

(株)丸の内建築事務所

(株)武藤構造力学研究所

施工者／鹿島建設株式会社

株式会社大林組

清水建設株式会社

竣 工／昭和49年 6 月

Location／Tokyo

Owner／Kokusai Denshin Denwa Co., Ltd.

Design／Nippon Sogo Architects and Engineers' Office

Marunouchi Architects Office

Muto Institute

Contractor／Kajima Corporation

Ohbayashi-Gumi, Ltd.

Shimizu Construction Co., Ltd.

Date of Completion／June, 1974

●選評

武 基 雄  
大 高 正 人  
吉 成 武

新宿新都心に建つK D Dビルは、国際電信電話株式会社の本社機構と、営業所ならびに国際通信のゲイトオフィス（関門局）を収容した建物である。

国際電話のダイヤル即時化、国際間高速データ伝達や画像返信など、情報化時代の要請に応えた国際通信の中核としての機能をもつセンターとして計画されたもので、建設委員会発足と同時に基本計画にかかり、2年の設計期間を経て工事に着手、32ヵ月の工期を要して完成している。

建物内容は、2階から10階を通信機械室、11階から17階を通信運用室とし、将来通信機械室としても使用可能なよう計画され、19階から32階は事務室階として使用されている。

20年先のビジョンに対応できるよう、特に機能的な寿命に配慮がなされ、この建物の生命である通信センターとしての機能を十分にはたすため、精度の高い設計と施工がなされ、特に機器部門の防災設備は、二重三重に対策がとられている。

また、機能の異なる通信機械室、運用室、事務室階を有機的に結ぶ設備上の垂直動線計画、通信機器の増設、配置替えに対応するフレキシブルな設備計画、災害時の各種防災関連計画など、綿密周到な計画がなされている。

通信機器を収容するため、4,800 M Mの階高を必要とし、構造は外壁二重梁によるカゴ状立体架構と、コア部分の立体架構とによるダブルチューブ方式が採用されている。

外装はアルミライト400、ベージュ色系の自然発色で、柱、二重梁をつつみ、無窓外壁に陰影をつけているが、この無窓外壁は必要に応じて窓との互換性も考慮されている。

当敷地の新宿新都心開発協議会の協定によって低層階、広場は開放されているが、建物の性質上苦心したことと思われ

る。

施工にあたっては、種々新しい試みがなされているが、特に揚重関係では、クライミングタワークレーンを開発して、鉄骨建方と同時にコア耐力P C壁、エレベータユニットなど同時サイクルで作業されている。また、本設エレベータ三基の仮設利用、高層部分揚重のための中型リフトをホッパーとして使用し、固練りコンクリート打設に使用するなど、その他合理的施工に工夫配慮がなされている。

このように機能、デザイン、施工上の各フェースにわたる配慮の確かさは、機能主義、工業主義という日本近代建築の流れを歩む電々建築によくみられる例であるが、よい意味で伝統を受けつぎ、機能を越えた明日の建築を期待できるものがある。

以上の理由により、B C S賞として十分評価に値するものと考え推薦するものである。

REVIEW

Motoo Take  
Masato Otaka  
Takeshi Yoshinari

The KDD Building, in Shinjuku, Tokyo's famous sub-center, accommodates the corporate headquarters, business offices and major interior equipment installation (gate office) of the Kokusai Denshin Denwa Co., which is the only Japanese company providing international telephone and telegram — and related telecommunications — services. The building was planned as a center for international communications and is equipped with the most modern facilities, including equipment for automation of long-distance dialing, high-speed international data transmission, and visual communications.

Design required two years; construction, 32 months.

The second through the tenth storeys house communications equipment, and the eleventh through seventeenth storeys are mostly for communications operation equipment; provision has been made for the latter to be used for communication equipment in the future. The nineteenth through the thirty-second storeys contain offices.

The conception of the building spans twenty years into the future, and the design anticipates productive use of the building for that period. Design and construction were done in a manner meant to insure that the building will adequately perform its function as a message exchange center. In particular, the double and triple safety systems in the equipment sections reflect this. Vertical flow planning for the facilities organically connects the office and equipment floors. Facilities planning has ample flexibility for re-arrangement in accordance with future needs. Detailed contingency planning was undertaken for such items as each type of safety system.

Ceiling heights for communications equipment rooms are 4.8 meters. Basket-type frame structure was used for the exterior walls. The facing wraps the columns and double beams in a natural color scheme of alumite and beige color.

A plaza was set aside through an agreement with a local council concerned with the development of the Shinjuku area.

●概要

建築概要

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 敷地面積 | 10,621㎡                             |
| 建築面積 | 2,916㎡                              |
| 延床面積 | 123,803㎡                            |
| 構造規模 | 地下部分：鉄骨鉄筋コンクリート造<br>および鉄骨造 地上部分：鉄骨造 |
| 耐力壁  | スリット壁                               |
|      | 地下3階 地上32階 塔屋2階                     |

仕上げ概要

外装 アルミカーテンウォール  
内装 基準階 床：ビニールタイル 壁：スチールパネル（一部蛭石プラスターVEP） 天井：岩綿吸音板／1階ホール 床：レンガタイル 壁：レンガ打込みPC板つつき仕上げ 天井：アルミフレーム格子天井

設備概要

電気 受電 地下2階2群 地上18階1群設備  
50HZ 3相3線22,000V スポットネットワーク3回線／変圧器 22,000V・415V・240V  
3相乾式変圧器×6、自家発電設備  
給排水・衛生 都水道φ150 排水：汚水槽1ヵ所、揚水ポンプ：各ゾーン毎に2台 高架水槽5基、給湯設備、貯湯槽等  
空調 冷熱源：地域冷熱源採用 通信機械室：各階個別調和機方式 4パイプ方式／事務室  
外周部：ファンコイルユニット方式 内部：各階個別調和機方式／冷凍機、中央集塵設備  
昇降機 エレベーター：乗用16基2バンク、人荷用2基、エスカレーター2基  
消火 スプリンクラー、002消化、泡消化、消火栓、消防用水



広場および東側外観／Low-rise section and the plaza



エントランスホール／Entrance hall



社員食堂／Dining room for employee



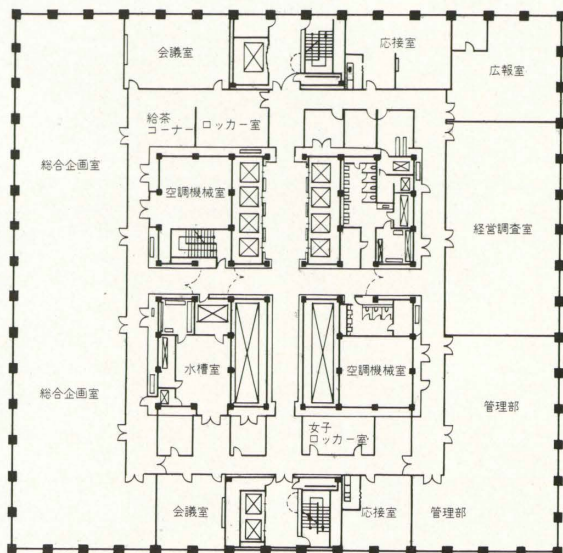
エレベーターホール／Elevator hall



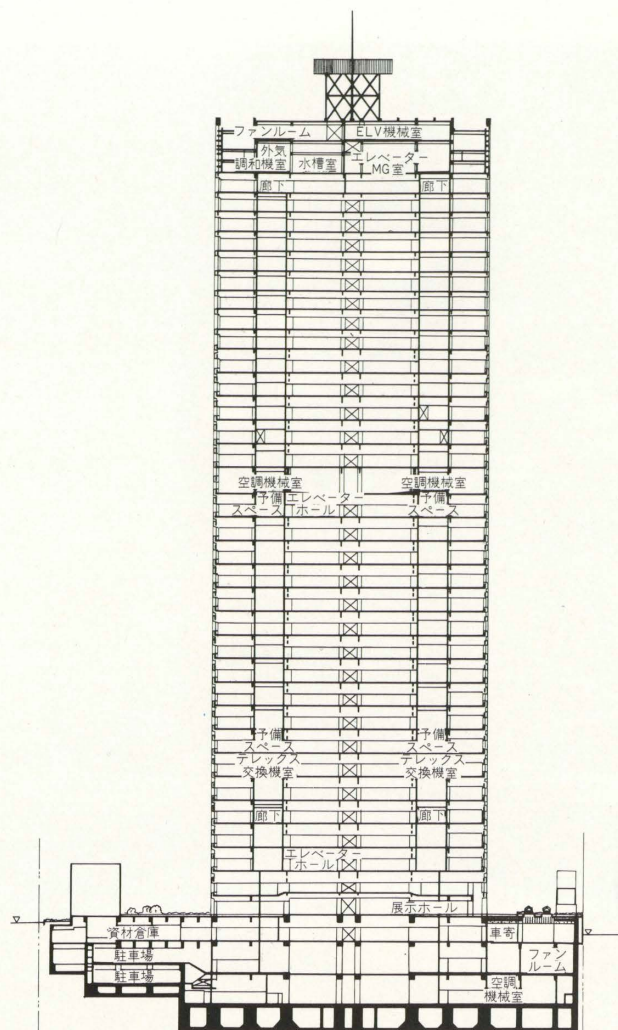
エレベーターホール／Elevator hall



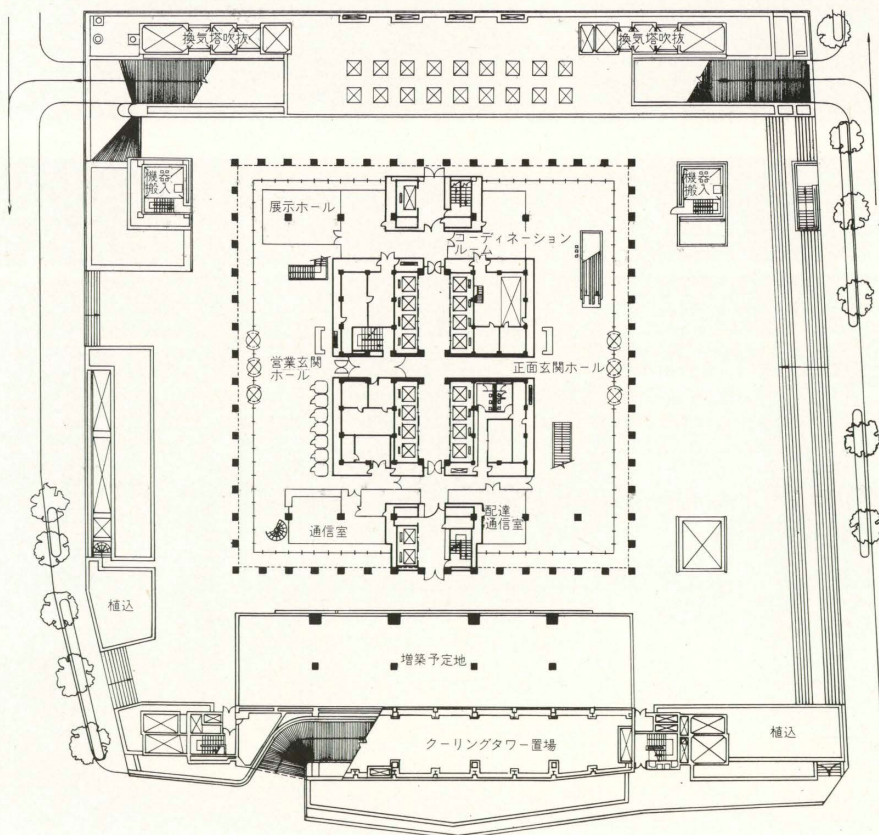
基準階事務室／Office on a standard floor



基準階平面図



断面図



1階平面図